

(様式第2号)

事業所名 グループホーム菜のはな

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 4年 3 月28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--------------------------------------|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 13 | ・職員の力量により介護力に差がある。統一した介護を行うためのスキルアップを図ることが必要。 | 職員全員が統一した介護ができるようスキルアップを図っていく。 | ・個別指導を行っていく。 ・介護士会議で取り組みの内容を説明し職員のスキルアップのための指導を行う職員に周知していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 55 | ・ご利用者の「できること」の把握ができていないことがあり職員の判断で「できない」と決めつけることがある。 | ご利用者の自立支援に向け「できること」「支援が必要なこと」の把握をする。 | ・職員の情報交換を申し送りノートを活用し、ご利用者の「できること」と「支援が必要なこと」を周知し、過介護にならないよう自立支援を行っていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 6 | ・虐待や拘束にあたる可能性のある言葉遣いをしていることがある。 | 虐待や拘束のグレーゾーンを「拘束」「虐待」とすることを周知する。 | ・研修を行う。身体的拘束適正化委員会を開催し、言葉のかけ方・グレーゾーンは「拘束・虐待」にあたることを周知する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。